

令和2年9月8日

部・局長 各位

市長

令和3年度予算編成方針

新型コロナウイルス感染症は、今なお終息が見えず、今後の社会に及ぼす影響は測り知れません。8月17日には、4～6月期の実質GDPが一マンショック時を超えて過去最大の落ち込みとなる前年比年率27.8%減と発表されました。国は、新型コロナウイルス感染症の下で浮き彫りになった課題の解決策として、「経済財政運営と改革の基本方針2020」において、デジタル化や「人」・イノベーションへの投資の強化等による「新たな日常」の実現を示しましたが、現時点における今後の見通しは、なお不透明なものがあります。

本市においても今年度は、当初予算にはない多様な新型コロナウイルス感染症対策の経費の追加や、それに起因した事業の執行の見直しなど、社会情勢の変化を受けて臨機応変に対応してまいりました。

このような中で迎える新年度は、第5次沼津市総合計画の初年度であり、基本構想で示した「人・まち・自然が調和し、躍動するまち～誇り高い沼津を目指して～」の実現に向け、今後10年間の飛躍を見据えた予算編成が求められます。

沼津駅周辺総合整備事業等これまでの取組を着実に推進することはもとより、「新たな日常」の実現のためにも、三密対策による安全確保や、コロナ禍から本市の元気を取り戻すための施策の推進、ICT活用の推進等の市民生活に関わる多岐にわたる取組が望まれます。同時に、役割を終えた事業は見直しを加え、限りある経営資源を合理的に配分し、これまでも増して効率的な行財政運営に取り組む必要があります。

新年度の予算編成に際しては、あらゆる面で社会のあり方が変わる転換点にあることを強く意識し、誰もが安心して心豊かに暮らしていけるよう、既存の枠組みにとらわれることのない、職員の柔軟な発想と粘り強い実行力を発揮されるよう大いに期待します。